

平成 31 年度・令和元年度
社会福祉法人 鈴鹿福社会
事業報告



鈴鹿グリーンホーム 公式ホームページ

1.はじめに

昨年度は、ICT(情報通信技術)関連の整備、外部発信を中心として、新たな実装と、これまでの取り組みの拡張を意識して進めてまいりました。

主なものとしては、

- 介護保険請求ソフト・介護看護記録システムの変更(ワイルマン・BlueOceanSystem)、クラウドサーバ化、全部署 ICT 化完了
- 全館 Wifi 環境の整備
- インカムの導入(デイサービスセンター・ショートステイ)
- 見守り支援ロボット「眠り SCAN」の増設(ショートステイ)
- 様々な介護ロボット、機器、デバイス、アプリ等の体験(特養・ショートステイ・デイサービスセンター)
- 「みえ介護フェア2019」における ICT・介護ロボットブース、ステージプログラムの担当
- 厚生労働省介護ロボット普及啓発事業「介護ロボット三重フォーラム2019」におけるパネラー登壇
- 三重県医療保健部ライフライン課との情報交換
- モバイルWifiルーターの使用による外部での記録開始
- NAS(ネットワークハードディスク)による職員間の情報伝達・共有
- トレーニングマシンや医学的知見を活かした予防・健康づくりの加速化
- 研究発表【5年連続(於：東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会)】
- ホームページ10万ページビュー達成(3年連続/134,574ページビュー)

など、多くのことに取り組み、地域の皆様に質の高い介護サービスをお届けしようと日々努めてまいりました。それら先進的な取り組みの賜物として、本年2月には、**令和になって初めての天皇誕生日に際して、今上陛下から優良民間社会福祉施設として御下賜金を拝領いたしました。**



末松鈴鹿市長への報告時の写真です(令和2年3月10日、於:鈴鹿市役所市長室)

左から、施設長、理事長、末松鈴鹿市長様、常務理事

私たちは、これまで地域のみなさまとともに歩み、築き上げてきたものがたくさんありますが、決して立ち止まらずにチャレンジし、社会福祉法人として、スタッフ一同、さらに一層の努力を重ねてまいります。

令和2年6月12日

社会福祉法人 鈴鹿福祉会
理事長 中村 敏

2.事業基本理念に基づく社会福祉事業・公益事業等経営を実践するための目標

目 標	～ “見える化”チャレンジ 2019 ～ ☆未来型の KAIGO にチャレンジ! ☆地域共生社会の実現にチャレンジ! ☆KAIGO・スタッフの “魅力” “楽しさ” “深さ” の発信にチャレンジ!
-----	--

3.法人及び各事業所の報告

※各取り組みの達成度については、

○…達成できた

△…ほぼ達成できた(一部達成できなかった)

×…あまり達成できなかった

で評価しています。

尚、取組の詳細、模様(画像)等については、当ホームページに日々掲載しております。
ぜひご覧ください。

	計	法人	特別養護 老人ホーム	ショートステイ	デイサービス センター	在宅介護 支援センター	居宅介護 支援
計画数	261	79	96	43	18	3	22
○	238 (91.2%)	75 (94.9%)	90 (93.8%)	37 (86.0%)	12 (66.7%)	3 (100.0%)	21 (95.5%)
△	14 (5.4%)	3 (3.8%)	5 (5.2%)	2 (4.7%)	4 (22.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
×	9 (3.4%)	1 (1.3%)	1 (1.0%)	4 (9.3%)	2 (11.1%)	0 (0.0%)	1 (4.5%)
-(事例 なし等)	5	1	0	0	1	2	1

(1)法人〈役員(理事長・常務理事・理事・監事)・評議員・総務係(事務部門)〉

項目	評価	結果	計画内容
1.未来型思考 の経営	○	■ 12 回開催	■ 月例会
	○	■ 12 回開催	■ 幹部会議
	○	■ 12 回開催	■ 連携会議
	○	■ 各事業所・部署の報告をご覧ください	■ 各部署会議の開催(毎月)
	○	■ 1 回開催 ■ 理事長面談(随時開催)	■ 臨時会議の開催(随時)

2.組織運営	>適切な法人運営	
	①理事会・評議員会の開催	
	○	■理事会:5 回開催 ■評議員会:4 回開催
	②法人の中身の見える化	
	○	■5/22 実施
	○	■5/22 実施
	○	■12 回受審
	○	■対面相談:2 回 ■メール・電話相談:複数回
	○	■1/9 受審
	○	■382 回(ホームページ「グリーンホームだより」・「情報公開ページ」) ■ホームページ: R 元…21,991(前年度比+15.2%) H30…19,094(前年度比+75.6%) H29…10,876(前年度比+45.0%) H28… 7,500(前年度比+98.7%) H27… 3,775
	△	■ホームページ: R 元…134,574(前年度比+11.6%) H30…120,574(前年度比+ 8.7%) H29…110,896(前年度比+ 41.1%) H28… 78,614(前年度比+177.0%) H27… 28,385
	△	■より効果的な方法を検討していく 必要があります
	○	■「NEWS LETTER」:13 回発行・配布
	○	■1 回実施(ホームページ 公開)
	○	■1 回実施
	○	■12 回
○	■実習生・職場体験: 延べ 10 日、計 8 名	
○	■ボランティア: 音楽会、傾聴、グリーンの秋まつり等	
○	■見学: 計 10 回、計 139 名 ・非営利特定法人トリム21 様:8 名見学 ・社会福祉法人安全福祉会様:3 名見学	

	<ul style="list-style-type: none"> ・鈴鹿市健康福祉部長寿社会課様:3 名見学 ・三重県医療保健部長寿介護課地域ケア推進班様:2 名見学 ・介護・福祉のお仕事魅力体験体験バスツアー:18 名見学 ・もとす広域連合様:6 名見学 ・社会福祉法人慈童会様:4 名見学 ・玉垣地区様:56 名見学 ・石薬師地区:38 名見学 ・社会福祉法人慈童会様:2 名見学 <p>※個別に見学に来られた件数は掲載しておりません。(学生等の課題レポート作成のための見学等)</p>		
	○	■ショートステイの特養転換、介護予防、非常災害対策、外国人、障がい者雇用、困難事例等について連携	
3. 社会福祉法に沿った運営	①低所得者等に対する支援の推進		
	○	■対象者:1 名	■社会福祉法人による利用者負担軽減制度
	○	■継続参画	■三重県社会福祉法人地域公益活動『みえ福祉の「わ」創造事業』参画
	○	■3.0%(R2/3/31 現在)	■法定雇用率(2.2%)を超える障がい者雇用
	○	■若年者: 21.5%	■就職が困難な方(障がい者・若年者・女性・高年齢者・児童福祉施設等からの退所者・外国人材など)の雇用
		■女性: 62.6%	
		■高年齢者: 15.9%	
		(R2/3/31 現在: 重複者はそれぞれカウント)	
	②認知症高齢者のサポートの推進		
	○	■2 回参画(研修会参加)	■認知症キャラバンメイト(鈴鹿市・鈴鹿市西部地域包括支援センター)への参画
	○	■計 61 回連携	■医療機関、認知症初期集中支援チーム(鈴鹿市西部地域包括支援センター)との連携
	×	■修了者はありませんでした	■認知症ケア実践者研修・リーダー研修の受講
	○	■採用時、研修受講	■認知症の改善に資するケアの学び・実践
	③地域の見守り活動への参加		
	○	■継続参画	■子どもを守る家(鈴鹿警察署・PTA・鈴鹿市)
	○	■継続参画	■鈴鹿市徘徊高齢者等のための安心ネットワーク(社会福祉法人 鈴鹿市社会福祉協議会)
○	■継続参画	■地域見守り活動【スクールパートナー】(鈴鹿市教育委員会)	
④各種啓発活動の推進			
○	■地域 6,115 戸に配布	■特殊詐欺【振り込め詐欺等】防止	

		(郵便局と協同)	
○	■ 熱中症予防、インフルエンザ・ノロウイルス・新型コロナウイルス感染予防についてホームページ・紙媒体により複数回発信	■ 感染症防止(ノロウイルス・インフルエンザ等)熱中症防止等	
⑤介護相談・予防・健康づくり等の実施			
○	■ 109 回実施、延べ 1,393 名参加 (在宅介護支援センター事業)	■ 介護予防普及啓発事業	
○	■ 石薬師ふれあいフェスティバル(3 名参画)	■ 介護・健康等無料相談	
○	■ 24 件、延べ 638 日実施(在宅介護支援センター事業)	■ 車いす等無料貸出	
⑥その他の地域における活動の推進			
○	■ 継続参画	■ いきいき介護リストへの参画(鈴鹿亀山地区老人福祉施設協会)	
○	■ 三重県、鈴鹿亀山地区広域連合、全国老人福祉施設協議会、三重県老人福祉施設協会、三重県社会福祉協議会、鈴鹿市社会福祉協議会、深伊沢地区社会福祉協議会、アセシブルデザイン食器検討会 等	■ 地方公共団体・各種関係団体等の委員会・検討会・協議会・研修会等への委員・講師等派遣	
—	■ 事例なし	■ 地域高齢者見守り体制整備(鈴鹿市より受託)	
○	■ 9/1-2 鈴鹿地区老協いきいき介護リスト ■ 10/23 鈴鹿地区老協交流会	■ その他	
4.地域へのさらなる浸透・信頼向上	△	■ 84.4%(全職員/職員アンケート結果) ■ 93.8%(特養・医務係/職員アンケート結果)	▶ 法人理念に沿った行動 目標：職員浸透率 100%
	▶ ご家族、地域との交流		
	①創立 26 周年記念行事(5 月 11 日)		
	○	■ ご家族:17 名参加 【献立】・寿司、鯖独活味噌焼き、天麩羅、ほうれん草のクリームスタ、トライフル、フルーツ、ブッキー等	■ ホーム、事業所の創立記念をみんなで祝う。 ■ ご家族、ご入居者と法人、スタッフが交流する。
	②敬老祝賀会(9 月 16 日・敬老の日)		
	○	■ 【献立】寿司、松茸真丈すまし仕立て、茶碗蒸し海老あんかけ、天麩羅、牛ロース市松焼キャラメルソース、秋茄子田楽、真鯛雲蒸し、フルーツ、紅白饅頭等	■ ご利用者、ご入居者の敬老をお祝いする。
	③グリーンの秋まつり(10 月 14 日・体育の日)		
○	■ ご家族:53 名参加 ボランティア等:14 名参加	■ 社会福祉法人の地域における公益的な活動として開催する。	

	<ul style="list-style-type: none"> ■【献立】やきそば、みたらし団子、揚げたご焼、カレーライス、フランクフルト、肉まん、冷やしクリームぜんざい、ドリンク等 	<ul style="list-style-type: none"> ■法人、事業所の中身や取り組みへの理解促進の場として開催する。 ■ご家族、ご入居者、地域住民の皆様と法人、スタッフが相互に交流する。 	
④クリスマス会(12月21日)			
○	<ul style="list-style-type: none"> ■ご家族:16名参加 ■【献立】寿司、冬野菜のスープ、蟹茶碗蒸し、天麩羅、サトウイチョ、手作りシウマイ、カレイ西京焼きパイ包み、さつま芋サラダ、フルーツデザート等 	<ul style="list-style-type: none"> ■クリスマスをみんなで楽しむ。 ■ご家族、ご入居者と法人、スタッフが交流する。 	
⑤在宅サービス利用者家族懇談会(3月21日、22日)			
○	<ul style="list-style-type: none"> ■3家族・5名参加 	<ul style="list-style-type: none"> ■新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、特養入居契約の際に個別に実施する。 	
>地域課題の解決に向けた取り組み			
○	<ul style="list-style-type: none"> ■ショートステイ30床を特養に転換 ■衆議院議員、参議院議員、県議会議員、市長、市議会議員、行政職員、各専門団体、講師、会計監査機関、社会保険労務士等との意見交換 ■4/23 鈴鹿市西部地域民生委員児童委員協議会出席 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域ニーズに基づく介護サービス等の検討・創出 	
○	<ul style="list-style-type: none"> ■ショートステイの増築については未実施 ■三重県医療保健部ライイノベーション課との意見交換(10/15、11/5、1/7、1/27・テクノロジーの活用等について) ■第一生命三重営業所支部労働組合様より車いすを寄贈いただきました ■鈴鹿法人会女性部様より車いす、寄せ植えを寄贈いただきました 	<ul style="list-style-type: none"> ■その他 	
5.人材の確保・育成・定着・活用	>採用等につながる活動の継続		
	○	<ul style="list-style-type: none"> ■計5回、延13名参加 	<ul style="list-style-type: none"> ■各種就職ガイダンス等への参加
	○	<ul style="list-style-type: none"> ■ボランティア：音楽会・傾聴・グリーン秋まつり等 ■実習生・職場体験：延べ12日、18名 ■見学：計10回・139名(再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ボランティア、実習生、職場体験受入
	○	<ul style="list-style-type: none"> ■ホームページ「グリーンホームだより」：371記事掲載 ★12,000を超える「ええな〜!」をいただきました。 ■ホームページ「情報公開」：11回掲載 ■「NEWS LETTER」(再掲) ■三重県社会福祉協議会「福祉みえ2月号」(みえ働きやすい介護職場取り組み宣言内容)掲載 ■三重県社会福祉協議会「みえ働きやすい介護職場取組宣言事業所の取組紹介集」掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ■ホームページや専門誌等による情報発信

	<ul style="list-style-type: none"> ■「デジタル秋号」(ICT・Web)掲載 ■「読売新聞」「伊勢新聞」「鈴鹿市 Facebook」(今上陛下より御下賜金拝領) 3/11)掲載 ■「みえ介護フェア2019(ICT・Web)」登壇 ■「介護Web三重フォーラム2019」登壇 ■「地域介護経営 2月号」掲載 など 	
○	<ul style="list-style-type: none"> ■小学生の部 6名、中学生の部 4名 ■8/9 事後学習会出席 	■鈴鹿市ワークショップへの賛同
○	<ul style="list-style-type: none"> ■全国老人福祉施設協議会「カンチーミーティング」(3月10日) ■亀山市社会福祉協議会「栄養・食事の視点から利用者の生活を考える」 ■社会福祉士会鈴鹿支部第2回研修「地域共生社会の実現に向けて～伴走型支援について～」 ■「みえ介護フェア2019」(ICT・Web) ■「介護Web三重フォーラム2019」 など 	■各種研修会への講師等派遣
○	<ul style="list-style-type: none"> ■ホームページ「情報公開」▶「介護職員処遇改善計画(報告)」「介護職員等特定処遇改善計画(報告)」をご覧ください 	■更なる処遇改善
○	<ul style="list-style-type: none"> ■次表に記載 	<ul style="list-style-type: none"> ▶育成活動の継続 ■施設内外研修の受講、勉強会の開催

●(外部)研修受講【計 119 日受講、延べ 188 名受講】

日程	部署	参加人数	内容
4月11日	総務係	1名	■障がい者雇用納付金制度事務説明会
4月17日	居宅介護支援	3名	■三重県社会福祉士会鈴鹿支部研修会 死後事務に関わる費用と実務の流れ
4月19日	総務係・施設長 特養係 デジタル 居宅介護支援	2名 6名 2名 2名	■介護老人福祉施設 明和苑様へ介護看護記録システムの見学
4月23日	特養係 医務係 居宅介護支援	1名 1名 1名	■高齢者福祉施設等における救急対応等説明会
4月29日	特養係 居宅介護支援	3名 2名	■養護老人ホーム 清和の里様内覧会

5月13日	特養係	3名	■元気を引き出す楽ワザ介護術「排せつケア」
5月17日	居宅介護支援	2名	■第1回鈴鹿西部地域包括支援センター研修会
5月18日	居宅介護支援	2名	■鈴鹿市認知症ケアネットワーク連絡協議会第6回研修会
5月22日～ (延べ8日間)	居宅介護支援	1名	■三重県主任介護支援専門員更新研修
5月23日	特養係	1名	■特別養護老人ホーム せんねん村様へ介護看護記録システムの 見学
	デイサービス	2名	
	居宅介護支援	3名	
	総務係	1名	■雇用主説明会「学卒求人説明会」
5月25日	居宅介護支援	1名	■サービス付き高齢者専用住宅おおよのき様へ見学
5月28日	総務係	1名	■三重県社会福祉法人役員及び幹部職員研修会
	特養係	1名	■職場体験受入事業所指導担当職員研修会
6月7日	居宅介護支援	2名	■介護認定主治医研修会
	特養係	1名	■鈴鹿市高齢者等在宅生活支援事業説明会
6月8日	居宅介護支援	2名	■介護認定主治医研修会
6月15日	施設長	1名	■三重老協経営戦略トップセミナー
	特養係	1名	
	居宅介護支援	1名	
6月19日	特養係	1名	■安全運転管理者講習会
	居宅介護支援	4名	■社会福祉士会鈴鹿支部第2回研修会
6月20日	施設長	1名	■介護保険サービス事業者等集団指導(施設系・通所系)
6月25日	特養係	2名	■指定病院等における不在者投票管理者に対する説明会
6月26日	デイサービス	1名	■思いを届ける「おまかせ・シキガク」
7月3日	特養係	1名	■管理者の能力を高めて会社を変える(新任管理者向け研修)
7月4日	居宅介護支援	2名	■比良小体型認知症市民講座 in 鈴鹿
7月10日	特養係	1名	■鈴鹿地区老協福祉避難所運営訓練「福祉避難所に関する勉強会」
7月18日	法人本部	1名	■三重県知事講演会
	居宅介護支援	1名	■三重県介護支援専門員協会鈴鹿支部研修会
	特養係	1名	■第25回在宅医療の勉強会
	居宅介護支援	3名	
7月18日、19日	施設長	1名	■東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会(福井大会) ※1名研究事例発表
	特養係	2名	
	デイサービス	1名	
7月21日	総務係	1名	■第3回鈴鹿・食を考える会「姿勢を楽にして楽しくゴックン」
	医務係	1名	

	特養係	1名	
8月1日	居宅介護支援	1名	■ 鈴鹿中央総合病院第2回緩和ケア病棟研修会
8月8日	居宅介護支援	2名	■ 指定居宅介護支援事業所・事業者等の集団指導
8月21日	居宅介護支援	1名	■ みえ福祉の「わ」創造事業創立3周年記念大会
	居宅介護支援	1名	■ 社会福祉士会鈴亀支部勉強会
8月23日	デｲﾌﾞﾈｽ	1名	■ 人材確保のための法人向け研修会
	特養係	1名	■ 鈴亀地区老協福祉避難所運営訓練「福祉避難所開設訓練」
9月6日、7日	施設長	1名	■ 日本高齢者虐待防止学会(蒲田大会)【高齢者虐待防止・身体拘束適正化にかかる研修】
	デｲﾌﾞﾈｽ	1名	
	居宅介護支援	2名	
9月10日	特養係	1名	■ リカバリーメント研修会
9月11日～ (延べ12日間)	施設長	1名	■ 介護支援専門員更新研修会
	特養係	1名	
10月2日	施設長	1名	■ 権利擁護に関する研修会【高齢者虐待防止・身体拘束適正化にかかる研修】
	特養係	2名	
10月8日	施設長	1名	■ 人材育成に関する研修会
	特養係	1名	
10月9日	特養係	1名	■ 鈴亀地区老協職員研修会
10月11日	居宅介護支援	1名	■ 医療法人誠仁会地域連携室ゆいまーる、鈴鹿市西部地域包括支援センター合同研修会
10月17日	特養係	2名	■ 鈴亀地区介護支援専門員協会事例検討会※事例報告
10月23日	施設長	1名	■ デｲﾌﾞﾈｽ指定更新手続説明会及び管理者研修
10月24日	施設長	1名	■ 三重老協在宅部会研修会 介護現場における生産性向上
	特養係	1名	
	デｲﾌﾞﾈｽ	1名	
10月29日、30日	施設長	1名	■ 全国老人福祉施設研究会議(愛媛会議)
	特養係	1名	
	デｲﾌﾞﾈｽ	1名	
	居宅介護支援	1名	
11月8日	施設長	1名	■ LINEWORKS 活用セミナー
	居宅介護支援	1名	
11月9日	特養係	1名	■ 眠りSCAN1-サー向けセミナー
11月12日～ 延べ10日間	居宅介護支援	1名	■ 主任介護支援専門員研修
11月13日	居宅介護支援	1名	■ 鈴鹿市介護予防教室の安全管理についての取り組み報告

			※事例報告
11月16日	総務係	1名	■第8回中部在宅栄養研究会
11月18日	デイサービス	1名	■事業所1日消防訓練
11月20日、 21日	施設長 医務係 デイサービス 居宅介護支援	1名 1名 1名 1名	■全国老人福祉施設大会(茨城大会)
11月27日	総務係	1名	■女性社員のための仕事力養成講座
11月29日	施設長	1名	■豊野みかんの里デイサービス様(質の評価等)の見学
12月3日	居宅介護支援	2名	■鈴鹿市認知症ケアボランティア連絡協議会第7回研修会
12月5日	特養係	3名	■ACP(アドバンス・ケア・プランニング)研修会
12月13日	居宅介護支援	6名	■鈴鹿西部圏域合同事例研究会
12月19日、 20日	施設長 特養係 デイサービス	1名 2名 1名	■東海北陸ブロック合同ミーティング in 石川
1月8日	総務係	1名	■都道府県経営協セミナー「経営者が主導する働き方の改革と人材確保」
1月10日	施設長 特養係	1名 8名	■笑顔を生む認知症ケア「BPSDと生活障害へのポジティブな対応」
1月11日	居宅介護支援	1名	■アディクションアートの新展開
1月13日	居宅介護支援	1名	■三重県介護支援専門員実務研修にかかる現場実習説明会
1月15日	デイサービス 居宅介護支援	1名 1名	■鈴鹿市介護予防普及啓発事業公募内容説明会
1月16日	総務係	1名	■給食施設管理者研修会
1月21日	総務係 特養係	1名 1名	■セトルキッチン方式導入検討会
1月22日	総務係・施設長 特養係	2名 3名	■食事ケア・摂食嚥下支援研修会
1月24日	法人本部 施設長	1名 1名	■みえぎん新春講演会
1月29日	施設長 特養係 特養係	1名 1名 4名	■東海北陸ブロック21世紀委員会合同委員会 ■認知症ケア製品等展示会
2月3日	法人本部 施設長	1名 1名	■全国老協トップセミナー

2月6日	施設長 特養係	1名 1名	■在宅サービス戦略セミナー
2月7日	特養係	3名	■接遇ナー研修
2月9日	施設長 特養係	1名 1名	■福祉フェア2020in伊賀
2月12日	居宅介護支援	1名	■介護保険ケアプラン点検
2月14日	居宅介護支援	1名	■医療法人誠仁会地域連携室ゆいまーる研修会
	施設長 特養係	1名 1名	■三重老協 21世紀委員会勉強会
2月17日	医務係 特養係	1名 1名	■災害時福祉支援リーダー養成講座
	特養係	2名	■エッセイコンテスト研修 in 静岡
2月18日	特養係	2名	■鈴鹿地区老協県外視察研修
2月19日	特養係	1名	■新入社員・パートアルバイト等の指導者の心得とその指導・育成法
2月24日	特養係	1名	■福祉就職フェアにおいて「みえ働きやすい介護職場取組宣言」にかかる取組報告
3月3日、4日	特養係	2名	■職場内研修体制構築講座

●事業所内研修・勉強会開催実績【計14回実施、延べ128人参加】

※月例会・業務改善会議・幹部会議・デイ会議・エッセイ会議中に全回実施している研修・イベント、情勢等の学びの機会（計108回）及び居宅介護支援事業所内定期会議において実施している利用者情報や留意事項などの伝達を目的とした会議（計64回、延べ394名参加）は記載していません。

日程	部署	参加人数	内容
6月11日	医務係	1名	■普通救急救命講習会
	総務係	8名	
	特養係	1名	
	デイサービス	5名	
	居宅介護支援	1名	
7月2日	総務係	1名	■非装着型移乗支援ベルト リコーネ説明・デモ講習
	特養係	5名	
9月17日	総務係	1名	■工場見学商品説明・意見交換
9月18日	総務係	1名	■体力測定ウェアラブル端末 MofFバンド説明・デモ
	特養係	1名	

	居宅介護支援	1名	
10月15日	医務係	3名	■インフルエンザ・ノウウイルス勉強会
10月18日	特養係	19名	
10月22日			
10月23日	特養係	3名	■排せつ予測デバイスDfree説明・デモ・講習
11月23日	特養係	3名	■新型マウスツ説明・デモ・講習
1月20日	特養係	10名	■見守り支援デバイスNeos+Care説明・デモ・講習
2月7日	総務係 特養係	1名 9名	■非装着型移乗支援デバイスSASUKE説明・デモ・講習
3月11日	総務係 医務係 特養係 デバイス	3名 2名 13名 9名	■安全運転講習・労働災害防止講習
3月25日	医務係 特養係	3名 15名	■ACP(アセスメント・ケアプランニング)勉強会
3月31日	総務係 特養係 デバイス	1名 1名 7名	■体力測定等ウェアラブル端末デバイス、Webによる使用説明勉強会

(5. 続き)	○	■5月、11月に実施	■キャリアパスシステムと人事考課制度・目標管理制度の効果的な運用
	○	■幹部会議、業務改善会議、デバイス会議においてレポート・情勢報告を毎月実施、有用資料の頻繁回覧	■リーダー・育成担当者の育成強化
	○	■東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会:分科会報告(ICT・デバイス・介護業務の分担等) ■三重県老人福祉施設協会 21世紀委員会勉強会(ICT・デバイス) ■「みえ介護フェア2019」(ICT・デバイス) ■ホームページ「情報公開」への資料掲載	■ホームページや研究大会等における事例報告
	○	■再掲	■関係団体が実施する研修会への講師・委員等派遣
	>働きやすい環境の整備		
○	■最低賃金改定及び同一労働・同一賃金対応 ■「みえ働きやすい介護職場取組宣言」内容への取り組み ■ICT・デバイス・機器の利活用加速化	■働き方改革関連法への対応 ■就業規則等規程類の改善	

		■ 人事考課・目標管理実施	
	○	■ 5/18 職員親睦会開催	■ 職員交流の機会の推進
	○	■ ICT・IoT・機器の利活用加速化	■ 「みえ働きやすい介護職場取組宣言」に基づく働き方の改善
	○	■ 6/17 業務方針の策定	■ その他
	○	■ 社章の作成	
6.職員の安全衛生管理の向上	➢ 衛生委員会の機能強化		
	○	■ 12 回開催 ■ 職員健康診断実施(採用時・定期・夜勤者対象)	■ 基本方針:労働災害のない安全で健康に働くことができる快適な職場の実現を図る ■ 目標:「働き方を改善して、仕事と家庭の両立を図る」(「みえ働きやすい介護職場取組宣言」目標と同じ)
	➢ ICT・IoT・センサー・AI・機器等の利活用		
	○	■ 見守り支援IoT眠り SCAN4 台(ショートステイ) ■ インカム増設(10 台→33 台) ■ 介護看護記録システム更新、Surface の導入、NAS(ネットワークHDD) ■ スマートフォンの活用など ■ モバイルWifiルーター導入・利活用 ■ 体力測定ウェアラブル端末 Mofibro 導入 ■ 見守り支援IoT眠り SCAN4 台(ショートステイ)	■ 導入・利活用・IoT 化の推進 ■ 介護IoT導入支援事業等助成金などの活用
	○	■ 衛生委員会における比較検討(毎月) ■ デイケア毎週水曜日(月始・月末を除く)にノ残業デー啓発	■ 家庭・介護・治療と仕事の調和(ワークライフバランス(WLB))等の取り組み
7.介護事故防止対策の徹底	➢ データと根拠に基づいた発生予防・再発防止対策の徹底		
	○	■ ヒヤリハット、事故事例の全件を個別検討、報告、回覧	
8.高齢者虐待防止の徹底	➢ 他の虐待事例を教訓とした啓発や教育の実施		
	○	■ 「採用時のしおり」による採用時研修 ■ 権利擁護研修受講	
9.身体拘束廃止の徹底	○	■ 「採用時のしおり」による採用時研修 ■ エキスト会議、業務改善会議(エキスト会議)、幹部会議における報告・検討・適正化 ■ 6 月・12 月事業所内研修実施(特養)	■ 基本方針:身体拘束は原則ゼロとする ■ 指針:「(当法人)身体拘束適正化指針」・「身体拘束ゼロの手引き」 ■ 定期的な会議の開催・研修会の開催又は受講データと根拠に基づいた

		■ 権利擁護研修受講	発生予防・再発防止対策の徹底
10.防犯対策 の徹底	➢ 防犯強化体制の継続		
	○	■ 継続実施	
11.非常災害 対策の徹底	➢ 過去の震災等被災例を教訓とした防災行動マニュアル・事業継続計画(BCP)に沿った体制等を強化		
	○	■ 事業継続計画(BCP)一部改正(職員配置)	
	➢ 台風・記録的短時間大雨・停電・断水等の過去の被災例を教訓とした各防災計画に沿った体制等を強化		
	○	■ インカム、インバーター増設 ■ 備蓄食更新	
	➢ 消防計画に沿った体制等を強化		
	○	■ 自主点検(毎月) ■ 消防用設備等法定点検実施(2回) ■ 消防訓練実施(特養・デイ各2回)	
	➢ 福祉避難所としての機能を強化		
○	■ 鈴鹿市福祉避難所運営訓練(2回) ■ ホーム内避難所運営訓練(HUG)実施 ■ 災害時福祉支援リーダー養成講座受講 ■ リスクマネジメント研修受講		
12.その他	➢ 消費増税への対応		
	○	■ 9月、10月に対応	
	➢ 太陽光発電売電事業(収益事業)		
	○	■ 運営状況について、理事会・評議員会報告	
	➢ その他		
○	■ 介護保険指定更新:特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスセンター、居宅介護支援 ■ 正門を拡張(出入時の見通し改善)		

(2)特別養護老人ホーム 鈴鹿グリーンホーム

入居者の状況 (R2.3.31現在)	性別	男性	13名	最高齢	101歳
		女性	37名		最年少
	計	50名	平均要介護度	4.14	
目標	【特養係・介護部門】介護業界の“頂”をめざして！				

	【特養係・介護支援専門員】いろんな SINKA(進化・深化・新化・真価・神化) ～何事にもチャレンジと1-モアを!～		
事業報告	【特養係・介護部門】		
	➤ 未来型の KAIGO にチャレンジ		
	○	■ 業務改善会議(エトリターグ-会議):12 回開催 ■ エット会議:延べ 60 回開催	
	○	(R2/3/31 現在) ■ 共通:介護看護記録システム ワイズマン・BlueOceanSystem、 機械式寝台浴、機械式車いす浴 ■ こすもすエット:装着型移乗支援ロボット HAL、リフト浴 ■ ひまわりエット:機械式個浴ポランテ、メタルエットロボット・パロ ■ すずらんエット:床走行式リフト、リフト浴 ■ すみれエット:機械式個浴ポランテ ■ さくらエット:装着型移乗支援ロボット マッスルスーツ®、機械式個浴 ポランテ	■ ICT・介護 ロボットの活用
	○	■ 法人「9.」をご覧ください	■ 身体拘束適正化取組
	○	■ 法人「5.」をご覧ください	■ 根拠に基づいた介護
	○	■ 歯科検診:1 回 ■ 歯科医師・歯科衛生士による指導:12 回	■ 口腔ケアの向上
	○	■ 入居者 16 名	■ 看取り介護
	○	■ 入居者 3 名	■ 褥瘡予防
	○	■ エット会議において勉強会を実施	■ 認知症ケア手法・認知症の改善に資する ケアの実践
	➤ 地域共生社会の実現にチャレンジ		
	△	■ 法人「4.」をご覧ください	■ 法人理念に沿った行動
	○	■ 法人「3.」をご覧ください	■ 障がい者雇用、外国人材の雇用等による 業務見直し・業務切り分けの実践
	○	■ 法人「5.」をご覧ください	■ 鈴鹿グリーンホームで働く意欲の向上を図る
	○	■ 法人「5.」をご覧ください	■ 「変わらない」ために「変わり続ける」
	➤ KAIGO・スタッフの “魅力” “楽しさ” “深さ” の発信にチャレンジ		
	○	■ 法人「5.」をご覧ください	■ SOS (「S:そう」「O:思えば」「S:そ うなる」)
△	■ 人事考課実施(6・12月) 特養正規職員 39 名の平均点 167.6 点	■ 当たり前のことを当たり前!	
○	■ 法人「3.」をご覧ください	■ 地域貢献活動の推進	
○	■ 東海北陸ブロック老人福祉施設研究大	■ ホームページの活用	

	会における事例発表の様様・資料公開	
○	■法人「2.」をご覧ください	■ホームページにおける公開や行事案内 ■「NEWS LETTER」の送付
【特養係・介護支援専門員】		
➤未来型の KAIGO にチャレンジ		
①生きがいと社会活動、参加を推進するためのチャレンジ		
△	■エッセイ会議内で研修を実施 一律の理解が難しく次年度に持ち越し	■国際機能分類(ICF)における活動と参加を取り入れたケアプランの作成と評価の実施
②タブレット等の情報通信技術		
○	■介護看護記録システム ワイズマン・BlueOceanSystem 導入	■(ICT)、介護リフト、各種ネットワーク等の活用
③ケアの効果の見える化を図るためのチャレンジ		
△	■法人「4.」をご覧ください	■介護サービスの質の評価の推進(QOLの向上、その浸透と評価指標を用いたの見える化を図る)
④「人生会議」(アドバンス・ケア・プランニング = ACP)を踏まえたケアプラン、24 時間シートの取り組み		
○	■外部研修受講、ホーム内研修を実施 ■16 名のご入居者をホームで看取らせていただきました	■本人の望む生活の実現に向けて(どのような最期を迎えたいか)
○	■特養:16 名、ショートステイ:2 名	■看取り、終末期ケア、チームケアの実践
➤地域共生社会の実現にチャレンジ		
①「人材」「事業所」の機能を最大限生かすためのチャレンジ		
○	■法人「4.」をご覧ください	■地域の複雑化、多様化したニーズに応える
②顧客の立場に立ち、暮らしの継続のための支援に向けたチャレンジ		
△	■エッセイチェックリスト集計結果 ○:228 項目(+4) △:31 項目(▲4) ×:6 項目(±0)	■様々な価値観を持つご入居者の「理想のケア」を届けるために取り組む
➤KAIGO・スタッフの「魅力」「楽しさ」「深さ」の発信にチャレンジ		
①知識・技術の確かさと、楽しさ・1-7が共存した職場づくりへのチャレンジ		
○	■法人「4.」をご覧ください	■認知症の改善に資するケアの実践
②働き方改革を推進し、ワークライフバランスを含めたさらなる労働環境改善を図るためのチャレンジ		

	○	<ul style="list-style-type: none"> ■障がい者・高齢者・子育て世代の雇用等 ■介護看護記録システム ワイズマン・BlueOceanSystem 導入、NAS(ネットワークHDD)の活用等 	<ul style="list-style-type: none"> ■介護周辺業務の切り分け(役割分担)、タブレット等の情報通信技術(ICT)、介護ロボット、各種ネットワーク等の利活用 	
	>その他			
	○	■事業所指定更新完了		
各ユニット運営計画		①こすもすユニット		
		ねらい		
	○	1	■24時間サイトは最新の情報を記載し、必要な情報が全て記載されており、ケアの統一に役立てる。	
	○	2	■介護業務と周辺業務を切り分け、ケアラーがご入居者の生活により寄り添って勤務できる体制をつくる。	
	○	3	■ICF(国際生活機能分類)の「活動」「参加」領域の目標達成により、ご入居者のQOL(生活の質)の向上を目指す。	
	○	4	■月1回以上の頻度で、ご家族の面会時又は電話などで連絡を行い、近況や必要物などをお知らせすることでホームでの生活の見える化を図る。	
	○	5	■ご入居者個々の日々の中で、状態やケアの一時的変更などを全スタッフがわかりやすい状況をつくり、その内容及び対応等の統一を図る。	
	○	その他①	■ユニット内を清潔に保ち、健康的に過ごしやすく、ご家族の面会時に気分良く、スタッフは働いていて気持ち良い状態を保つ。	
	○	その他②	■ACP(アドバンス・ケア・プランニング)を実践することで、入居者、家族の思いに寄り添いながら、その人らしい終末期を送っていただくことができる。	
		②ひまわりユニット		
		ねらい		
	○	1	■経営理念をユニットスタッフに浸透させ、日々の業務における判断基準にすることができる。	
	○	2	■24時間サイトをリアルタイムで更新する。	
	○	3	■介護業務の分担を図る。	
	○	4	■居室に自宅から持ち込んだ家具等を増やすことで、自分の居室にする。	
○	5	■自分の居室が一目でわかるように、居室の入口を工夫し、生活の中での迷いをなくす。		
○	6	■サークル活動を実施し、楽しみながら生活ができる時間をもつ。		

○	7	■ご入居者のニーズに合わせて、外出の機会を増やす。併せて自立支援につなげる。
○	8	■自分が行えることは自由にできるキッチン環境を整える。
○	9	■個々の入浴マニュアルに沿った入浴支援を行い、介助内容の統一化を図る。
○	10	■ご家族の面会について、ご入居者の精神的な支えとしてコミュニケーションの場を提供する。
○	11	■ウッドデッキの食事やティータイムを行う。
○	その他①	■ユニット内の清潔を保ち、ご入居者・ご家族が過ごしやすい環境にする。
○	その他②	■ACP(アドバンス・ケア・プランニング)に対する意識を高め、実践していくための勉強会を開催する。
○	その他③	■褥瘡(床ずれ)が発生しないよう、健康管理や生活環境を改善する。
○	その他④	■適切な水分摂取量の把握と提供
○	その他⑤	■床走行式リフト・リフト浴を利活用し、スタッフの身体的負担を軽減するとともに、ご入居者の安心感の向上につなげる。
○	その他⑥	■ユニットでの日々のケアや生活、取組等についてホームページで発信する。
○	その他⑦	■認知症の改善に資するケアを日々の業務に取り入れ、ケアの向上を図る。
③すずらんユニット		
ねらい		
○	1	■スタッフ全員が同じ方向性でケアができる。
○	2	■ケアの根拠がわかる。
○	3	■排せつの無駄をなくす。
○	4	■おいしく食事ができる。
○	5	■行きたい場所に出かける。
○	6	■寿命を全うすることができる。
○	7	■ご入居者の望む生活を続けることができる。
○	8	■スタッフがご入居者にとって最も信頼できる存在になる。
○	9	■月に一度、「ユニットケアとは」を考える機会をつくることで、私たちが提供したケアを振り返ることができる。
○	その他①	■リフト浴を使用することにより、ご入居者が安全に入浴できるとともに、スタッフの腰への負担軽減を図る。
④すみれユニット		

		ねらい
○	1	■ 経営理念、老人福祉法第 33 条を理解し意識することで、スタッフ全員が同じ方向性で、質の高いユニットケアを行う。
○	2	■ 24 時間シートを活用することにより、スタッフ全員が統一したケアを行う。日々の暮らしとともに変化していくご入居者の生活に副った支援を行う。
○	3	■ 入居者の目の前で食事を盛り付けることで、家庭的な雰囲気の中で楽しく食事をすることができる。好みの量を提供するとともに、入居者の状態変化にも気づくことができる。
○	4	■ トイレでの排せつを促すことにより、心身共に気持ちよく過ごすことができる。リアムα-200 を使用し、入居者一人ひとりの排せつリズムを把握することにより、適切な時間、回数の排せつ支援を行うことができる。
○	5	■ 外出支援や季節毎にユニット内行事を開催し、家庭的な雰囲気を提供するとともに社会参加が行える環境を作る。
○	6	■ ユニットケアチェックリストの項目に従いながら、定期的に勉強会を行う。ユニットケアへの知識を深めるとともに、発言の場を設け、スタッフの積極性を生み出す。
○	その他①	■ ACP(アドバンス・ケア・プランニング)を実践することで、入居者、家族の思いに寄り添いながら、その人らしい終末期を送っていただくことができる。
○	その他②	■ ICF(国際機能分類)の「活動」「参加」領域に基づき、それぞれの入居者が望む生活(役割・趣味活動・外出など)を実現し、QOL(生活の質)に向けた自立(律)支援介護を展開する。
○	その他③	■ 認知症ケアについて、スタッフが理解し、ケアを展開することで、入居者、家族ともに安心した生活を送ることができる。認知症の改善に資するケアを実践することで、ケアの負担軽減、認知症の行動心理症状の低減、スタッフのバーンアウトを防ぐことができる。
○	その他④	■ 床走行式リフトや i-PAL を使用する事で、移乗介助を行う際のスタッフの身体的負担を軽減する。入居者が安心安全に移乗介助を受けられることができる。
		⑤さくらユニット
		ねらい
○	1	■ 経営理念、老人福祉法第 33 条を理解したうえでケアを行う。
○	2	■ ご入居者の暮らしぶり(その方がどのような最期を迎えたいのかを含む)を把握し、ケアプランや 24 時間シートに副ったケアを展開する。

○	3	■自分の部屋となるように支援する。施設感が出ないように住まいとして生活ができるよう配慮する。
	4	■エントを越えて交流できる場をつくる。
	5	■ご入居者の好みや意向に副った入浴の支援を行う。
	その他①	■マッススーツ®を活用し、スタッフの身体的負担の軽減を図る。他のエントに対して、マッススーツ®について上方提供を行う。
	その他②	■環境美化に努め、職場管理の基盤として 5S 活動を実践する。又、エントの無駄なモノの整理・スペースづくり・時間などの削減を通して、共有しやすい状況をつくるとともに、スタッフの意識・行動の改善につなげる。
	その他③	■根拠に基いた適切なケアを行い、ご入居者の方がらしい生活や自己実現、ご本人の思いに副ったケア、認知症ケア、看取りケア等を提供する。

医務係	目標・方針：☆生きる張り合いを感じていただけるよう支援します☆			
	①国際機能分類(ICF)における活動・参加領域をケアプランに落とし込んだ個々の生活の質(QOL)向上・達成			
	○	<table border="1"> <tr> <td>■利用者一人一人の変化を早期に気づき、多職種と連携し生活の質の低下を防げた</td> <td>■健康状態が、少しでも維持向上できるよ う、環境(人、モノ、社会的)を整え、活動、社会参加をしつつ、心の動きから心身機能への好影響を目指す。</td> </tr> </table>	■利用者一人一人の変化を早期に気づき、多職種と連携し生活の質の低下を防げた	■健康状態が、少しでも維持向上できるよ う、環境(人、モノ、社会的)を整え、活動、社会参加をしつつ、心の動きから心身機能への好影響を目指す。
	■利用者一人一人の変化を早期に気づき、多職種と連携し生活の質の低下を防げた	■健康状態が、少しでも維持向上できるよ う、環境(人、モノ、社会的)を整え、活動、社会参加をしつつ、心の動きから心身機能への好影響を目指す。		
	②認知症ケア「認知症の改善に資するケア」の全スタッフの実践、認知症疾患別ケアの実践			
	○	■各部署へ発信した		
	③「人生会議」(アドバンス・ケアプランニング = ACP)			
	○	<table border="1"> <tr> <td>■「④」をご覧ください</td> <td>■思いを汲み、よかったと認めていただける看護の提供</td> </tr> </table>	■「④」をご覧ください	■思いを汲み、よかったと認めていただける看護の提供
	■「④」をご覧ください	■思いを汲み、よかったと認めていただける看護の提供		
	×	<table border="1"> <tr> <td>■算定することができなかった</td> <td>■看取り介護加算の算定</td> </tr> </table>	■算定することができなかった	■看取り介護加算の算定
■算定することができなかった	■看取り介護加算の算定			
④ケアの総合力の向上				
○	<table border="1"> <tr> <td> ■看取り:特養 16 名、ショートステイ 12 名 ■配置医との連携状況(R2.3):計 113 回/月 ・電話:38 回(うち配置医より 35 回) ・FAX:43 回(うち配置医より 3 回) ・臨時処方:27 回 ・診察:4 回【於:当ホーム診療所】 ・死亡診断:1 回 </td> <td>■誤嚥性肺炎の罹患者数及び褥瘡発生数も少なく、ケアの総合力が向上しています。人生 100 年時代、穏やかな最期を迎えていただけるよう支援する。</td> </tr> </table>	■看取り:特養 16 名、ショートステイ 12 名 ■配置医との連携状況(R2.3):計 113 回/月 ・電話:38 回(うち配置医より 35 回) ・FAX:43 回(うち配置医より 3 回) ・臨時処方:27 回 ・診察:4 回【於:当ホーム診療所】 ・死亡診断:1 回	■誤嚥性肺炎の罹患者数及び褥瘡発生数も少なく、ケアの総合力が向上しています。人生 100 年時代、穏やかな最期を迎えていただけるよう支援する。	
■看取り:特養 16 名、ショートステイ 12 名 ■配置医との連携状況(R2.3):計 113 回/月 ・電話:38 回(うち配置医より 35 回) ・FAX:43 回(うち配置医より 3 回) ・臨時処方:27 回 ・診察:4 回【於:当ホーム診療所】 ・死亡診断:1 回	■誤嚥性肺炎の罹患者数及び褥瘡発生数も少なく、ケアの総合力が向上しています。人生 100 年時代、穏やかな最期を迎えていただけるよう支援する。			
⑤(ショートステイ)在宅生活の維持・継続に向けた総合的ケアの提供				
○	<table border="1"> <tr> <td>■「④」をご覧ください</td> <td>■看取り、配置医の協力</td> </tr> </table>	■「④」をご覧ください	■看取り、配置医の協力	
■「④」をご覧ください	■看取り、配置医の協力			

	⑥人材の育成、定着、活用				
	○	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電子機器を活用し情報共有ができた。 ■ 看護記録システム更新 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 根拠に基づいたケア ■ 電子記録化 ■ 5S 活動 		
栄養管理・調理部門	目標・方針：「食べるちから」を支え、よりよい食生活の実現を目指す				
	①栄養マネジメントの実施				
	○	<ul style="list-style-type: none"> ■ 栄養ケアシート:4 回 ■ 栄養ケア計画書:4 回、高リスク12 回(作成・説明・同意・交付) ■ モニタリング:12 回 ■ 評価:12 回 ■ 平均 BMI:20.4【低リスク:16 名、中リスク:22 名、高リスク:12 名(R2/3/31 現在)】 ■ 【参考】主食・副食の状況(R2/3/31 現在) 			
	・主食				
	ごはん		29 名	ハ°-スト粥	3 名
	全粥		10 名	濃厚流動食	2 名
	リト粥		3 名	その他	3 名
	・副食				
	常食		28 名	ハ°-スト食	5 名
	刻み食		9 名	その他	1 名
	リト食		5 名		
	<ul style="list-style-type: none"> ・個別対応:47 名/50 名中【R2.3.31 現在】 ※嗜好・生活歴等に配慮したメニューのカスタマイズ、セナ茶(食物繊維)の提供など 				
②嚥下障がいや看取りの方に対応した食事(リト食等)の提供					
○	■ ①をご覧ください				
③栄養面だけではなく、味や季節感、嗜好にも配慮した食事の提供					
○	■ ホームページ「グリーンホームだより」、法人「4.①～④」をご覧ください				
④イベント食(おやつ作り等を含む)等の提供					
○	■ イベント(小規模のものを含みます):22 回				
⑤ご利用者、ご家族、地域住民との相談機能強化					
○	■ 石薬師ふれ愛フェスティバルにおいて栄養相談を行いました(看護職員、介護支援専門員とともに)				
⑥生活習慣病等に配慮した療養食の提供					
○	■ 療養食:3 名				

⑦フレイル・サルコペニアに配慮した栄養価の高い食事の提供		
○	<ul style="list-style-type: none"> ■ 平均栄養摂取量:1,419kcal/日(たんぱく質 49.9g/日) ■ 平均水分摂取量:1,178ml/日 <p>(当ホームでは、平均 1,170ml/日以上水分摂取で状態が安定する傾向が見られています)【ともにR2.3 現在】</p>	
⑧医療、医療職、介護支援専門員等との連携、入退院時の連携		
○	<ul style="list-style-type: none"> ■ 配置医(療養食等) ■ 看護職員(食事形態、生活習慣等) ■ 歯科衛生士(3回) ■ 介護支援専門員(入退院時、利用・終了時) 	
⑨ホームページによる「食」の情報発信		
○	<ul style="list-style-type: none"> ■ 献立表:24回(特養・ショートステイ/デイ) ■ 食事行事の掲載 ■ イベント「④」をご覧ください 	

(3)ショートステイ(短期入所生活介護)

目標	～ 現代版『無業の位』～ 『千変万化・自由自在に対応できる』、必要な時に必要なだけ手をさしのべる		
事業報告	> 未来型の KAIGO にチャレンジ ① 地域のみなさまの期待を超える KAIGOサービスを提供するために		
	○	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務改善会議(エトリガ-会議):12 回開催 ■ エット会議:延べ 24 回開催 	
	○	(R2/3/31 現在) <ul style="list-style-type: none"> ■ 共通:介護看護記録システム ワイズマン・BlueOceanSystem、モバイルWifiルーターの試用 ■ いちようエット:インカム、リフト浴 ■ ひのきエット:インカム、非装着型移乗支援ロボット、i-PAL、床走行式リフト、機械式個浴ホ-ランテ ■ かえでエット:見守り支援ロボット眠り SCAN、インカム、リフト浴 ■ けやきエット:機械式個浴ホ-ランテ、床走行式リフト、機械式寝台浴、機械式車いす浴 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ICT、ロボット、見守りセンサー、介護機器の利活用の推進
	② KAIGO、福祉施設の未来型ビジネススタイルをデザインするために		
	×	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業所を増築することができなかった ■ 運営規模等の適正化を図る 	
	③ エットケアを「旗艦」としての「質」の担保		
	△	<ul style="list-style-type: none"> ■ エット会議内で研修を実施 全てのケア-カーが一律の理解は困難であるが、一定の理解は進んだ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国際機能分類(ICF)における活動と参加領域をケアプランに落とし込んだ個々のQOL 向上・達成(24 時間シートとの連動を含む)
	○	<ul style="list-style-type: none"> ■ 権利擁護研修受講 ■ 事業所内勉強会参加 ■ 看取りの実施(2 名) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ アドバンス・ケアプランニング (ACP)
	○	<ul style="list-style-type: none"> ■ エット会議内で「マ-チット」への理解を深める勉強会を実施 ■ 3 名のエトリガ-と共に認知症に関する勉強会に参加、フィードバック研修を実施した 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 認知症の改善に資するケアの実践、認知症疾患別ケアの実践→在宅生活の維持・継続に向けた総合的なケアの提供 ※「良くなって自宅に戻る」「ご家族を介護離職させない」
	> 地域共生社会の実現にチャレンジ ① 共生型サービスへの挑戦		
×	<ul style="list-style-type: none"> ■ 行えていない 		
② 顧客の立場に立ち、暮らしの継続のための挑戦			
○	<ul style="list-style-type: none"> ■ 権利擁護研修会に参加、フィードバック研修を 		

	<p>実施し、理解を深めることができた</p> <p>■エントアフェクトリスト集計結果</p> <p>○:170 項目(+2)</p> <p>△: 28 項目(▲1)</p> <p>×: 12 項目(±0)</p>				
<p>➤KAIGO・スタッフの“魅力”“楽しさ”“深さ”の発信にチャレンジ</p>					
<p>①全てのサービスは顧客の利益のために</p>					
○	<p>■エント会議毎に法人理念の唱和を行い、基本的な考え方について理解を深めることができた</p>				
<p>②人材の育成</p>					
○	<p>■イカム活用</p> <p>■法人「5.」をご覧ください</p> <p>■職員親睦会開催</p> <p>■人事考課評価項目の規律性①～⑭を基本として組織人としての資質の底上げを行った</p> <p>■コミュニケーションについて、基本的な挨拶を通じて、存在承認をたえず実践することで風通しの良い組織がつくることができた</p>	<p>■コミュニケーションは「質」よりも「量」</p> <p>■良質のサービスを知ってもらう活動</p> <p>■さらに風通しのよい組織に</p>			
<p>③働き方改革への対応</p>					
○	<p>■14 台活用(取組の詳細についてはホームページ「情報公開」をご覧ください)</p>	<p>■イカムの導入(リアルタイムでの情報共有に時間を費やさない工夫)</p> <p>■出勤者への情報共有は一瞬で!</p>			
○	<p>■エント会議において徹底</p> <p>■高齢者による介護業務の分担化についても上手く推移できた</p>	<p>■5S 活動の徹底</p>			
○	<p>■障がい者・高齢者・子育て世代の雇用継続(業務改善の成果あり、法人「3.」をご覧ください)</p>	<p>■多種多様な人材の活用</p> <p>■業務切り分けの着実な実施</p>			
○	<p>■勤務表作成時に有給休暇を計画的に取得することができた</p>	<p>■有給休暇の計画的な取得</p>			
<p>➤その他</p>					
○	<p>■事業所指定更新完了</p>				
各エント運営計画	<p>①いちようエント</p>				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">ねらい</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td> <p>■エント型ショートステイとして目指すところを理解し、利用者の暮らしが継続したものとなるよう支援する。</p> </td> </tr> </table>		ねらい		1
ねらい					
1	<p>■エント型ショートステイとして目指すところを理解し、利用者の暮らしが継続したものとなるよう支援する。</p>				

○	2	■ 経営理念の徹底により、理念を意識し、スタッフ各々が正しい判断を行い、地域信頼の向上につなげる。
	3	■ 詳細な24時間シート作成による利便性向上に加え、介護業務の分担化を進めることにより、個別支援等の時間にあて、質の維持・向上につなげる。
	4	■ エット費を活用し、利用者一人ひとりがそこで過ごしたいと思えるような空間をつくる。 ■ エット費を活用に加え、介護業務の分担化を進めることで、レクリエーションや外出などの選択肢を増やし、個々の利用者が有意義に過ごすことができる。
	その他①	■ D-Free を活用し、排せつリズムを把握することにより、排せつケアの向上と利用者の尊厳を守る。 →機器トラブル有、業者と調整中
	×	その他② ■ イカムを使用することで、スマートで円滑な情報連携・業務連携を実現する。
②ひのきエット		
ねらい		
○	1	■ スタッフ一人ひとりが同じ意識をもち、その方に合ったサービスを提供する。
○	2	■ 経営理念を理解し意識することで地域に信頼される質の高いケアを行う。
○	3	■ 24時間シートを活用することにより、自宅での生活と継続した暮らしになるよう支援する。
○	4	■ 自分の趣味を活かせる機会や興味をもてるような企画等を行うことにより、交流の場を作る →レクリエーションや配席等に配慮し交流の場を作る事ができたが趣味を活かせる機会は設けることができていなかった
△	5	■ 個人のプライバシーを守り、安心して過ごせる環境を作る
○	6	■ 水分摂取量の向上や自宅での生活同様になるように環境をつくる。
○	その他①	■ 介護機器(リフト浴)を活用することで、利用者の安全や負担を軽減するとともに、スタッフの腰痛防止等介護業務の負担軽減を図る。
③かえでエット		
ねらい		

○	1	<ul style="list-style-type: none"> ■ エットケアの在り方を理解することで利用者の暮らしが継続したものとなるよう支援できる。 ■ 経営理念への理解を深め、スタッフ一人ひとりが地域の皆様からの信頼を得る。
○	2	<ul style="list-style-type: none"> ■ 24 時間シフトを活用することにより、今までの生活が継続できるよう支援する。
○	3	<ul style="list-style-type: none"> ■ 居室での暮らしに必要なテーブルやクッションを設え、落ち着ける空間を提供する。
○	4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自由にお茶を飲んでもらえるようにリビングに魔法瓶を用意する。
○	その他①	<ul style="list-style-type: none"> ■ 眠り SCAN を活用し、個々の利用者に向けた見守り等を行う。
○	その他②	<ul style="list-style-type: none"> ■ 認知症の改善に資するケアについて勉強会を開催する。
×	その他③	<ul style="list-style-type: none"> ■ DFree を活用し、個々の排せつリズムを把握することで、その人に合わせた排せつ支援を行う。→機器トラブル有.業者と調整中
○	その他④	<ul style="list-style-type: none"> ■ ｲﾝｶﾑを使用し、タイムリーな情報共有を行う。
④けやきエット		
ねらい		
○	1	<ul style="list-style-type: none"> ■ 24 時間シフトにご利用者の生活を反映し、自助的自立・依存的自立の双方を重視したそれぞれが願う自立を叶えたケアを行う。
○	2	<ul style="list-style-type: none"> ■ 趣味活動などをご利用者・スタッフが同じ目線で楽しめる機会を設け、同じ体験を通じて信頼関係を築く。気候のよい時季にウッドデッキを活用する。
○	3	<ul style="list-style-type: none"> ■ 個々のプライバシーに配慮した適切な口腔ケアを行う。口腔状態を整え“おいしい食事”が続けられるよう支援する。
○	4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 24 時間シフトの情報を成立する。ICT を活用し、情報がいつでも確認できるようにする。
○	その他①	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務の仕分けを行い、適切な人員を割り振り、必要な業務に専念できる環境をつくる。スタッフ一人ひとりのスキルを高め、モチベーションを保つとともに、ワークライフバランスに配慮したシフトを作成する。
○	その他②	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「いい最期だった」と感じていただけるように多職種で連携を取り、体調・食事等様々な面から希望に副った支援を行う。
○	その他③	<ul style="list-style-type: none"> ■ 認知症介護について知識を深める。認知症の改善に資するケアを提供する。

(4) デイサービスセンター(通所介護)

目標	～地域の“フックアップ” デイサービスを目指して～		
事業報告	① 在宅で生活されている認知症高齢者へのケア向上		
	○	■ 定例会議の開催: 12 回	
	×	■ 修了者なし	■ 認知症介護実践者等研修の受講(修了者の増配)
	△	■ 会議時に情報共有	■ 認知症の改善に資するケア、認知症疾患別ケア等の展開(学び→実践→評価→ケアの改善)
	② 健康寿命の延伸、予防・健康づくり		
	○	■ 左記により、機能訓練・介護予防について、積極的かつ先進的に取り組みました ■ Moffバンド® 試行	■ トレーニングマシン、レッドコート®、理学療法、柔道整復、その他音楽会、アクティビティ、個別ワーク等による在宅生活の維持、継続に向けたサービスの提供
	③ 在宅生活におけるそれぞれのご利用者、ご家族の QOL 向上		
	△	■ 活動・参加に取り組むが、ケアプランへの細やかな落とし込みが不十分	■ ケアプランへの ICF(国際生活機能分類)の「活動」「参加」領域の視点の落とし込み
	④ 質の評価への対応、実践、見える化		
	○	■ 定期的にバーセルインデックス測定 ■ ADL 維持等加算については算定要件(新規利用割合)に達しなかったため算定できませんでした	■ バーセルインデックス(Barthel Index、機能的評価)等によるケアの効果測定、ADL 維持等加算の算定
	○	■ 中重度ケア体制加算算定	■ 中重度者等への対応…中重度ケア体制加算、栄養スクリーニング加算等の算定
	×	■ 栄養スクリーニング加算未算定	
	⑤ ご家族の精神的・身体的負担の軽減		
	○	■ 306 日営業(台風の影響により 3 日休業、1 日縮小営業)	
⑥ 働き方の改善			
○	■ 事務員配置	■ 人材の活用(介護業務の切り分け)、育成(教育)	
○	■ インカム増設(18 台) ■ 介護看護記録システム導入 ■ HURスマートタッチシステム継続活用 ■ Moffバンド® 試行	■ 機器やテクノロジー等の利活用(さまざまなモノの KAIGO 現場実装)	
○	■ 現人員の中で協力してサービスを提供することができました	■ 部署内、法人内でお互いに協力し合える体制づくり	
⑦ サービスや職場にかかる中身の積極的な情報発信			
△	■ ホームページがグリーンホームだより: 49 回発信	■ ホームページや広報誌等、情報発	

○	■「NEWS LETTER」:13 回発行・配布	信媒体の活用
⑧みえ福祉第三者評価(H29 受審)にかかる改善計画の継続実行		
○	■改善計画に位置付けた内容はほぼ取り組めていますが、一部人材に関する事項(研修受講)が不十分でした【R2 事業計画に位置付け】	
⑨継続検討事項		
○	■令和元年 12 月更新	■介護リフト等システム
△	■研修受講	■共生型サービスに向けて
⑩その他		
○	■事業所指定更新完了	
	■一般浴槽タイル張替工事実施	

(5)在宅介護支援センター

事業報告	①鈴鹿市介護予防普及啓発事業及び高齢者見守り体制整備事業業務委託 《鈴鹿市介護予防普及啓発事業(毎週介護予防教室)受託》																																																																																					
	<p>※新型コロナウイルス感染拡大を考慮して、3月は開催を全て中止いたしました。</p> <p>合計:実施回数 109回、延べ 1,393名参加</p> <p>○ ■グリーンの音楽会: 計 45回実施、延べ 492名参加</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>実施回数</th> <th>延べ人数</th> <th>月</th> <th>実施回数</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4</td><td>4</td><td>48</td><td>10</td><td>5</td><td>48</td></tr> <tr><td>5</td><td>4</td><td>39</td><td>11</td><td>4</td><td>35</td></tr> <tr><td>6</td><td>4</td><td>53</td><td>12</td><td>4</td><td>38</td></tr> <tr><td>7</td><td>5</td><td>58</td><td>1</td><td>4</td><td>40</td></tr> <tr><td>8</td><td>3</td><td>33</td><td>2</td><td>3</td><td>36</td></tr> <tr><td>9</td><td>4</td><td>44</td><td>3</td><td>0</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> <p>■運動クラブNEXT(10月より、毎週火曜日及び下期より、金曜日を追加して開催) 計 61回実施、延べ 803名参加</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>実施回数</th> <th>延べ回数</th> <th>月</th> <th>実施回数</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4</td><td>4</td><td>56</td><td>10</td><td>8</td><td>80</td></tr> <tr><td>5</td><td>4</td><td>58</td><td>11</td><td>9</td><td>100</td></tr> <tr><td>6</td><td>4</td><td>71</td><td>12</td><td>6</td><td>79</td></tr> <tr><td>7</td><td>5 体力測定</td><td>95 (20)</td><td>1</td><td>8</td><td>76</td></tr> <tr><td>8</td><td>3</td><td>54</td><td>2</td><td>6 体力測定</td><td>63 (21)</td></tr> <tr><td>9</td><td>4</td><td>71</td><td>3</td><td>0</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> <p>■ボイストレーニング: 今年度は、毎月第4金曜日にテイクアウトセンターご利用者に対象として実施したため、事業としての実績は0名でした</p> <p>■出張音楽会:</p>	月	実施回数	延べ人数	月	実施回数	延べ人数	4	4	48	10	5	48	5	4	39	11	4	35	6	4	53	12	4	38	7	5	58	1	4	40	8	3	33	2	3	36	9	4	44	3	0	0	月	実施回数	延べ回数	月	実施回数	延べ人数	4	4	56	10	8	80	5	4	58	11	9	100	6	4	71	12	6	79	7	5 体力測定	95 (20)	1	8	76	8	3	54	2	6 体力測定	63 (21)	9	4	71	3	0	0	<p>■グリーンの音楽会又はボイストレーニング・運動クラブNEXT(毎週火曜日)</p> <p>■出張音楽会の地域展開</p>
月	実施回数	延べ人数	月	実施回数	延べ人数																																																																																	
4	4	48	10	5	48																																																																																	
5	4	39	11	4	35																																																																																	
6	4	53	12	4	38																																																																																	
7	5	58	1	4	40																																																																																	
8	3	33	2	3	36																																																																																	
9	4	44	3	0	0																																																																																	
月	実施回数	延べ回数	月	実施回数	延べ人数																																																																																	
4	4	56	10	8	80																																																																																	
5	4	58	11	9	100																																																																																	
6	4	71	12	6	79																																																																																	
7	5 体力測定	95 (20)	1	8	76																																																																																	
8	3	54	2	6 体力測定	63 (21)																																																																																	
9	4	71	3	0	0																																																																																	

	計 2 回実施、延べ 91 名参加	(関係機関の求めに応じ 開催・各地域包括支援セ ンターとの連携・合同実施 の検討)									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>実施回数</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>1</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>1</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	月	実施回数	延べ人数	9	1	71	12	1	20	■ 生きがい活動など(月 1 回程度)→法人独自の 事業として検討
月	実施回数	延べ人数									
9	1	71									
12	1	20									
	<p>■ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11/13 介護予防安全管理研修会出席、事例報告 ・1/12 餅つき行事(料理教室・栄養、指導):7 名 										
《鈴鹿市高齢者見守り体制整備事業業務受託》											
—	■ 対象事例なし	■ 鈴鹿市内の各地域包括支援センター又は鈴鹿市長寿介護課から継続的な見守り訪問等の対応要請があった場合に適切な対応を行う。 なお、見守り内容については、原則、事前に鈴鹿市内の各地域包括支援センター又は鈴鹿市長寿介護課と月 1 回以上の対象者本人面談を含んだ計画を立てた上で対応を行う。									
○	■ 365 日 24 時間の体制を継続いたしました	■ 対象者又は家族等の関係者から 365 日 24 時間通報を受けられる体制を整備する。									
—	■ 対象事例なし	■ 虐待等の緊急対応が必要な場合、鈴鹿市長寿社会課に速やかな情報提供を行う。									
②車いす等の無料貸し出し事業											
○	<ul style="list-style-type: none"> ■ 車いす :13 件、延べ 414 日貸出 ■ ホータブル : 5 件、延べ 132 日貸出 ■ シャワーチェア : 4 件、延べ 92 日貸出 ■ 滑り止めマット: 2 件 										

(6) ケアマネジャー(居宅介護支援)

目標	<p style="text-align: center;">通う心・通じる情報</p> <p style="text-align: center;">～新しい連携と共有の手法により、介護支援専門員の Potential*を最大限に発揮する!～</p> <p style="text-align: center;">※Potential (ポテンシャル：潜在的能力・可能性として持つ力)</p>	
事業報告	①特定事業所としての安心感～スタッフ全員で地域を支える～	
	○ ■モニタリング:延べ 2,302 回	■利用者へのごまめなモニタリング活動と介護サービス事業所との連携継続
	○ ■地域の社会資源や介護サービス事業所について都度情報提供を相互に連携を図ることができた	■利用者に対する公平公正な地域の社会資源や介護サービス事業所の情報提供
	○ ■スマートフォン7 台活用、LINEWORKS により情報共有を図りました ■音声入力ソフト(6ライセンス)の利活用	■ケアマネジャー相互の連携による地域に対する相談支援及び緊急対応体制の強化 ■スマートフォンの導入及びツールを使用した業務効率化・関係機関との連携強化
	○ ■定期運営会議:64 回 ■事業所内研修:64 回 ■外部研修等については、法人「5.」をご参照ください	■定期運営会議・事業所内研修の継続、各種外部研修会への参加(医療面・障がい者施策・地域共生サービスについてを含む)、地域ケア会議や鈴鹿市西部地域合同事例研究会・ケアプラン点検・各種ケース検討会への事例提供など協力推進
	○ ■困難ケースへの複数の事業所介護支援専門員の関与:13 回	■困難ケースへの対応と、地域のつながりを意識した連携推進・強化
	○ ■同行訪問:12 回 ■困難ケースへの複数関与:再掲	■研修における各担当ケースの開示及び定期的な相互担当ケースへの同行訪問・困難ケースへの複数のケアマネジャーの関与
	— ■事例なし	■介護支援専門員実務者研修にかかる実習生の受入れ
	○ ■H31.3 より増員	■介護支援専門員の増員
	○ ■5月(6月)、11月(12月)に面談・考課実施、11月に目標設定	■人事考課制度・目標管理制度による自己覚知と資質の向上
	○ ■就業規則に基づき勤務時間の繰り下げ等の調整により対応することができました	■ワークライフバランスの改善、和顔愛語の実践
	○ ■事業所指定更新	■その他
	②介護保険制度の理解を深める～最新情報や動向の取得とアカンセリティ(説明責任)の実践～	
○ ■10月までに実施すること	■介護保険制度や利用の仕組み等(消費増税	

	ができました	時を含む)の周知徹底と利用者・家族への説明
○	■情報を必要とする方すべてに都度説明を行いました	■鈴鹿市の日常生活支援総合事業(地域包括ケアシステム)の周知徹底と利用者・家族への説明
③地域貢献活動の推進～社会福祉法人として安心感をお届けする活動の実践～		
○	■在宅介護支援センター「①」をご覧ください	■介護予防普及啓発事業と連動したハリスク高齢者へのアプローチ
×	■増員することができなかった	■担当職員増員による体制整備
○	■法人「5.」をご参照ください	■鈴鹿市長寿社会課・鈴鹿亀山地区広域連合・鈴鹿市西部地域包括支援センター・地域の民生委員・他事業所との連携
○	■収集した情報は社会資源ファイルに追加しました	■地域の中の各種社会資源の情報収集及び連携強化
○	■法人「5.」をご参照ください	■医療機関・医師会・歯科医師会・各サービス事業者等との連携
○	■法人「5.」をご参照ください	■地域内の他居宅介護支援事業所との連携
○	■在宅介護支援センター「②」をご覧ください	■車いす等無料貸出事業の継続
○	■法人「3.」をご覧ください	■鈴鹿市徘徊高齢者等のための安心ネットワーク活動への協力
○	■法人「5.」をご参照ください	■認知症啓発活動への取り組み
④ホームページによる情報発信～地域のみなさまに情報をお届け～		
○	■法人「2.」をご覧ください	■利用者に有用・必要な情報の発信